

第21号

# 酪農とちぎ



もつすべ春

「立春」と共に、福寿草、  
ザゼンソウが一斉に咲き揃  
い、梅林からウグイスの声  
便りが届きます。二月十六  
日には、県内にて「春一番」  
が吹き、春の訪れも間近い  
ようです。

米国のBSEに続き、「鳥  
インフルエンザ」が世界中  
を脅かし、関連業界は打撃  
を被っており、早期の終息  
を願うものです。

今年も確定申告が始まり、  
皆様には諸準備中かと察し  
ます。先にご案内したよう  
に、十五年の課税売上高が  
一千万円を超える方は、十  
七年から消費税の申告・納  
税となりますのでご注意下  
さい。



# 乳価高・頭数減・能力向上

## 乳代集計結果より

先に、平成十五年一月～十二月までの乳代集計表を送付致しましたので、過年の反省と次年度計画目標の樹立に当たって活用して頂きたいと思います。集計結果を見ますと、組合の平均及び傾向については次の通りです。

生乳生産実績は、二十七戸の出荷戸数減等により、二、七三九tの減となりましたが、経産牛一頭当乳量の伸びと一戸当飼養頭数の増加に支えられ、最小限の減産に止まる事が出来ました。これは、皆さんの経営向上に対する熱意と努力の結果と察します。支所別に見ますと、県南支所が約二万kg増となり、飼養頭数に比例し生産が伸びております。

乳代の基準乳価は、十四年と比較し四〇銭アップしました。また、乳質向上による加算分(約四〇銭)を加えますと一kg当り八〇銭向上しました。

乳質については、前年と比較しますと、無脂乳固形分が約〇・一%向上し、脂肪率・細胞数についても向上しており、乳質管理の成果を感じます。

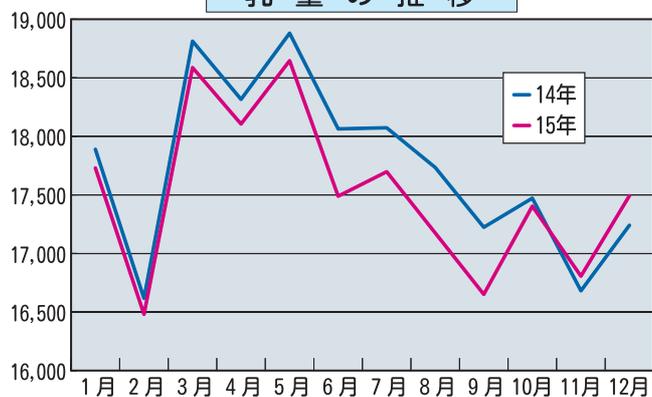
飼養頭数は、前年と比較すると約八百六十頭減少し、総頭数約三万九千頭となり、酪農中止者の増加及び初妊牛が高騰するなど、悪条件の中で増産が困難だった事を裏付ける結果となりました。しかし各人の増産意欲により、一戸当りの飼養頭数は若干の増頭が生まれました。

経産牛一頭当りの乳量は七、七〇一kgと、前年より約九〇kg増加いたしました。また、一戸当りの生産量は、一戸当増頭と個体能力の向上により六、四七四kgの増加になりました。

申すまでなく、個体能力の向上は飼養技術の基本であり、収益に直結することより、今後共技術の

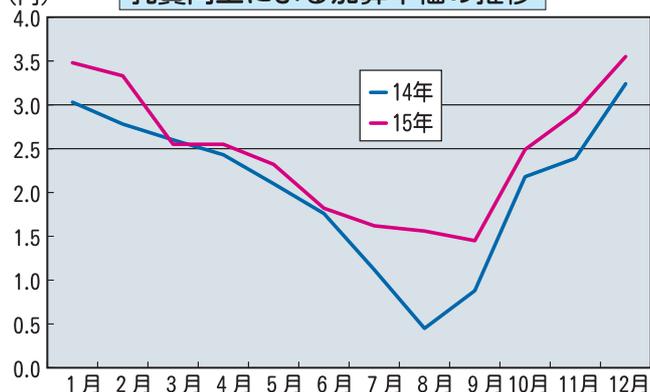
研鑽に心がけ下さい。また、後継牛の確保を安定的に図るため、育成牛保有率の向上に努め下さい。

乳量の推移

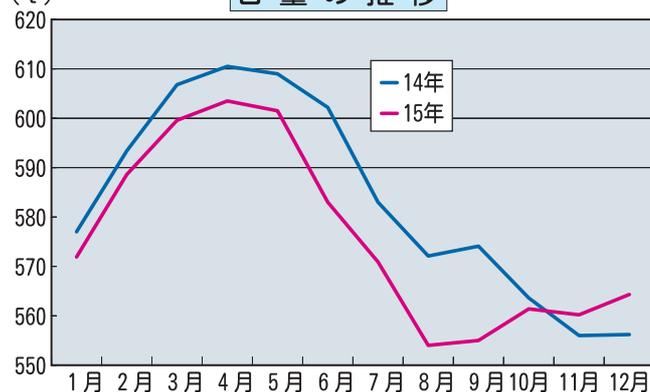


出荷戸数	14年	15年	増減
那須高原支所	445	435	- 10
宇都宮支所	147	141	- 6
県南支所	173	162	- 11
合計	765	738	- 27

乳質向上による加算単価の推移



日量の推移



# 農業士に三名認定さる

二〇〇三年度の農業士認定式が一月七日に県公館で行われました。本組合員から、次の方々が認定をうけましたので紹介します。

農業士

永嶋 繁さん（市貝町）

滝沢悦郎さん（高根沢町）

遠藤清志さん（那須町）

名誉農業士

岡本秀治さん（高根沢町）

清水忠彦さん（那須町）

農業士認定制度には、農業士、

女性農業士、名誉農業士の三制度があります。農業士は地域農業の中核者として、自らが模範的な農業経営及び農家生活を実践され、経営の管理運営等に関して、高度な



岡本夫妻

滝沢夫妻

知識・技術を有し、地域農業の振興、青年農業者の育成に努められている方が、女性農業士は地域農業の中核者として模範的な農業経営、農家生活を実践され、農村社会において男女共同参画に関し豊富な知識を有されて地域のリーダーとして積極的に活動されている方、名誉農業士は農業士・女性農業士として十年以上活動され、その功績が顕著である方が対象になります。今回認定された皆様には、心よりのお祝いと、更なるご活躍を期待申し上げます。



永嶋夫妻

遠藤夫妻

清水夫妻

# 西那須野町議選に

## 本組合員三名が当選

任期満了に伴う西那須野町議選

が一月二十五日に行われました。

本組合から現職の三名が立候補、

即日開票の結果、長浜昭一さん、

松原勇さん（酪農とちぎ理事）、水

戸滋さんが当選を果たされました。

皆さんと共にお祝いを申し上げます、

更なる町政におけるご活躍をお祈り申し上げます。



長浜昭一氏



水戸 滋氏



松原 勇氏



# 栃木県酪農発表会

栃木県酪農協同組合連合会主催による、第二十九回栃木県酪農発表会が二月五日（木）に宇都宮市の「ホテル コンセーレ」で行われ、青年部・女性会員が多数出席して研修しました。当日の発表会は冒頭、前田忠利会長より、「優秀な酪農経営と貴重な体験を発表され、意見交換を通じ、経営の合理化・近代化をめざし、生産性の高い安定経営確立に向け精進願いたい」の挨拶に続き、渡辺透委員長から審査並びに助言者の紹介を経て、第一部から発表となりました。

第一部 酪農経営発表部門  
環境と調和のとれた酪農経営を目指して

藤沼 一裕（栃酪）

第二部 酪農に関する意見、体験発表部門

楽農めざして

永嶋志保子（酪農とちぎ）



我が家の酪農経営・私の家族・私の楽しみ・これからの夢

就農して十年

鈴木 積（酪農とちぎ）



幼少時代の思い・学生時代の思い・就農して・これからのを考えて

六年も経つちやいました

石黒 智子（栃酪）

仲間と共に歩む

相馬 健一（酪農とちぎ）



自給飼料生産の高い酪農経営を目指す・第十三回関東地区共進会に出品して

# 四月から「消費税込み総額表示方式」がスタートします

四月から、消費者に対する「値札」や「広告」などに価格を表示する場合に、消費税相当額（地方消費税相当額を含む）を含んだ支払総額の表示を義務付ける「総額表示方式」がスタート（免税業者を除く）します。

詳細については次の通りです。

購買品について  
（価格表・納品書・請求書）

従来通りの方式を採用します。

理由としては、特定される組合員との取引には、総額表示方式義務の対象ではありません。

乳代精算書について

従来通りの様式により通知致します。

購買品等と同様の理由と、一ヶ月間の集計に基づいて精算する場合は、合計額に消費税を付加し精算しても差し支えないためです。

その他

消費税が付加される奨励金等について、案内文書及び明細等も変更ありません。また、診療・ヘルパー等の精算についても同様です。尚、平成十七年度から消費税の免税事業者が、三千万から一千万に引き下げられますのでご留意下さい。

ご不明な点等が御座いましたら、所轄支所・事業所等にお問い合わせ下さい。

# 東西南北

## 那須高原支所

青年部大田原支部勉強会並びに  
女性会大田原支部視察研修

十二月七日(日) 青年部大田原支部は隣接地域内優秀視察勉強会として、機関誌十四号「生涯検定推奨牛」で紹介されました、塩原町の渡辺牧場(渡辺透氏)を視察しました。視察内容は、飼養管理全般についてをテーマとし、牛舎内を見学しながら飼養状況及び各ステージに対しての考え方について説明を受け、お互いの意見の交換を行いました。特に「良い牛を見て目を肥やせ」の言葉に、渡辺さんの改良に対する熱意に青年部員全員が共感させられた視察でした。

十二月三日女性会大田原支部は

劇団四季によるミュージカル(マンマミーヤ)を観賞に行きました。澄み渡る歌声とダンス、ユーモラスな母娘の愛を描いた作品に、あつという間に引き込まれてしまいました。帰りのバス中において、酪農に係る情報交換、ミュージカルの感想などを話し合い、懇親を深めた一日でした。

## 宇都宮支所

宇都宮支所活動推進協議会並びに  
三地域酪農組合合同講演会

一月十四日、高根沢町元気あつぷむらにて、日光東照宮教学室長の「高藤晴俊」欄(なご)を招いて、「世界文化遺産・日光東照宮再発見」と称した講演会を開催しました。この講演会前日に大雪が降り、積雪した悪路にも係らず、組合員さん等三十一名が出席し、高藤氏の文化遺産等の説明に聞き入っていました。

最初に協議会長の小林幸雄氏が、「今日は酪農のことを頭から切り



離し、心新たに世界遺産に指定された日光東照宮の文化財を知り、郷土知識豊かな一県民になりましょう。」と挨拶し、次いで相馬副組合長より組合の運営現況について報告を頂きました。

講演はスライド映像を見ながらのご講話で、徳川家康が一六一六年に没し久能山に埋葬され、翌年日光に改葬された。何故改葬されたのか、またその先が日光なのか。など方位学からの見地で説明がなされ、続いて建造物の彫刻の持つ物語とその意味を面白可笑し

く解いて頂き、一時間半の講演時間も十五分程延長しましたが、あつと言う間に過ぎてしまいました。時間があればもう少し詳しいお話しを聞きたいとの声もありましたが、日光東照宮にお出で頂きたいとのことで締めくくられました。

昼食をはさみ、午後から宇都宮税務署の渡辺上席国税調査官による、平成十五年度税制改正の説明、特に消費税に関する説明を受けました。消費税のしくみや申告・納付、届出の時期、方法、その時の注意事項など液晶プロジェクターを使い要点をわかり易く説明していただき非常に有意義な講習となりました。

## 栃木県南支所

地域の活動近況

各地域における活動を報告します。

十一月



- 河内南部・下都賀地域酪農組合  
研修会・畜産試験場松山牧場
- 青年部芳賀支部・北海道視察
- 女性会河内南部・下都賀支部研  
研修会・東京六本木ヒルズ
- 青年部河内南部・下都賀支部・  
第二回酪農座談会・講師那須高  
原支所長藤田常美
- 町民祭・茂木町、芳賀町、益子  
町、市貝町、真岡市  
酪農業のPRを兼ねた乳製品の  
試飲・販売
- 真岡市乳用牛共励会  
真岡市長賞第一部柳憲一様  
第二部柳宗一様
- 環境美化花の苗の配布
- 地域酪農組合・トレーサビリ  
ティー説明会

十二月

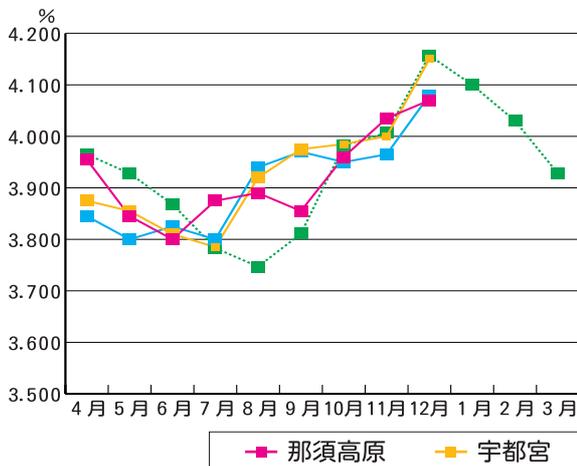
- 生研センター視察
- 県南支所ゴルフ愛好会・第一回  
ゴルフコンペ、関東国際CG
- 青年部堆肥共励会ハネルディスカッション  
優秀賞五点

(有)岡田牧場、笹島政光、柳文

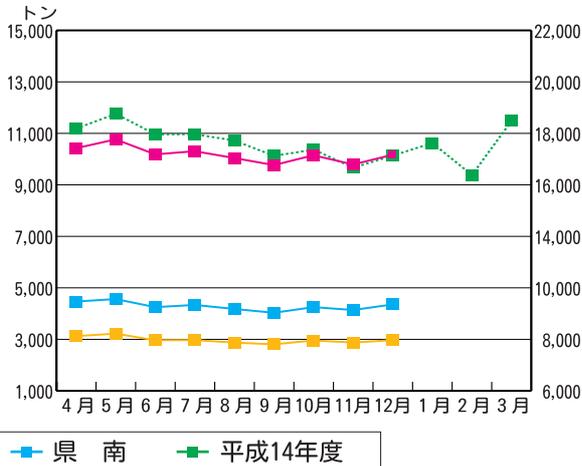
- 男、藤田哲郎、大阿久要
  - 芳賀地域酪農組合・前田組合長  
との懇談会
  - 女性会河内南部・下都賀地域支  
部・コンテナガーデン作り
  - 女性会芳賀支部・フラワリアル  
ンジメント・講師藤田洋子さん
- 一月
- 新年会・益子町、谷貝新田、市  
貝町、沖、芳賀町、上三川町青  
年部芳賀支部
  - 酪農ヘルパー利用組合県南支部  
ヘルパー懇談会
  - 河内南部・下都賀地域酪農組合  
・前田組合長との懇談会
  - 女性会芳賀・河内南部・下都賀  
支部・ボーリング大会
  - 青年部河内南部・下都賀支部・  
ボーリング大会



◆ 脂肪率の推移

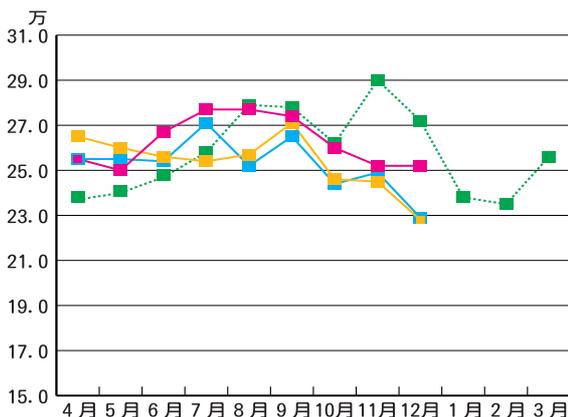


◆ 乳量の推移

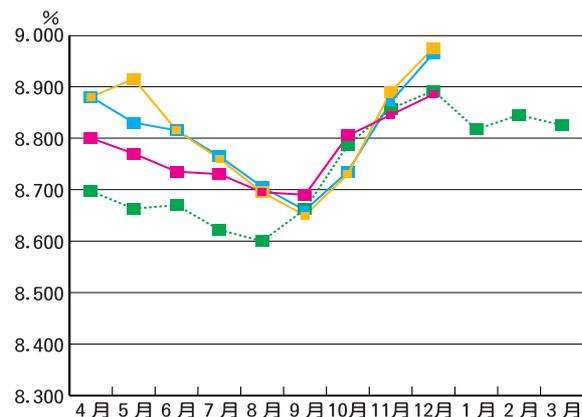


部課だより

◆ 体細胞数の推移



◆ 無脂乳固形分率の推移



生乳販売部  
生乳生産回復傾向に!



## 酪農部

### 経産枝肉相場一・七倍

生乳生産は、昨年夏が冷夏傾向となり、秋以降も乳牛にとつて良質な気候だった事から好調な生産となつています。昨年十一月に〇・七%増と前年を上回り、十二月についても一・五%増と堅調に推移しています。また、都府県においても〇・五%増と回復傾向が続いています。

一方、関東生乳販連の用途別販売実績をみると、飲用牛乳向け販売量は前年比九八・八%と十一月からは若干回復したものの、醗酵乳等向けが九九%と前年を下回りました。また、特定乳製品向けは前年比一二六・八%と増加し、需給は緩和傾向となっております。

乳質は無脂肪固形分率（八・九二%）・脂肪率（四・〇八%）とも前年並みの良好な成績となり、細胞数についても前年を約三万向上しております。

十二月の乳量及び乳質成績は前記のとおりです。

米国でのBSE発生の影響で、輸入牛肉と同様に国産牛肉（主に乳用種）の価格が値上がりしています。

（株）全日本農協畜産公社に販売された乳用種経産牛の枝肉平均単価を調べ集計しました（表1参照）。当組合扱いでも価格上昇が顕著であり、米国BSE発生前の十二月第三週と発生直後の一月第一週を比較すると、一・七倍となり、最高（枝肉格付B 2）は枝肉重量四七〇kgで七〇〇円/kgでした。枝肉重量が三八〇kg以上で肉質の良いものが高く取引されています。

米国からの輸入再開のめどが立たない為、豪州産への代替が進められておりますが、米国産約二十四万t全量を補う事は難しく、この状況はしばらく続く事が予想されます。

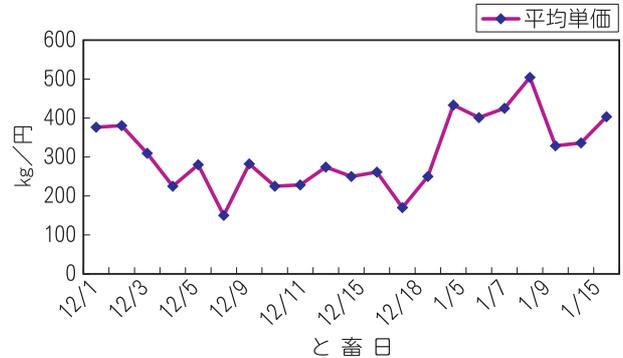
しかし、米国のBSE問題が長

期化すれば、外食産業の低迷や牛肉離れ等による消費の落ち込みを招き、景気に影響すると懸念されています。

国産牛肉は、厳しい検査に合格した安全なものしか食卓に上る事はありません。今後の情勢は心配ですが、冷静な対応が必要です。

我々、畜産物を供給する側としても、経産肥育牛の有利販売は重要ですが、併せて国産牛肉の安全性を強く消費者にアピールする事も必要ではないかと思えます。

表1 乳用種経産牛枝肉平均単価の推移(全酪連)



注) (株)全日本農協畜産公社販売分を集計

## 1月ホクレン初妊牛市場成績

(単位:頭,千円(税込))

市場名	開催日	成立頭数	平均価格	体重別					
				~350	351~400	401~450	451~500	501~550	551以上
釧路	1月14日	235	462	8	19	56	92	56	4
根室	1月15日	324	482	1	8	53	158	89	15
豊富	1月16日	268	499	1	17	29	89	79	53
十勝	1月20~21日	583	505	6	13	61	150	237	116
北見	1月22日	361	493	2	10	51	155	100	43
合計		1,771	493	18	67	250	644	561	231
前月		2,507	493	28	123	438	818	631	469
前年同月		1,713	470	56	153	323	672	509	

## 家畜市場成績

平成16年1月 (単位:円(税込))

市場名	種別	成立頭数	平均体重	価格		
				最高	最低	平均
西那須野 十五日	ホルス雄	130	-	70,350	3,150	47,428
	F1雄	63	-	157,500	36,750	111,333
	F1雌	54	-	93,450	19,950	64,458
館林 十七日	ホルス雄	15	69	59,000	12,000	43,867
	F1雄	18	73	173,000	86,000	141,500
	F1雌	29	69	118,000	43,000	85,414



# 理事会だより

## 一 月度理事会

### 報告事項

- (一) 資金貸付について
- (二) 平成十五年度生産者支払乳

## 春夏秋冬



今、酪農業界最大の懸案事項は脱粉の過剰在庫問題であるが、これについては中央で種々論議が行われているところである。

脱粉の在庫を減少させるには、脱粉を原料とする商品を新たに開発することが考えられるが、各メーカー・業界とも新開発に取り組んでいるようだが、なかなか難しいようである。

脱粉を海外援助のために役立てる案には、援助を受ける側の国に問題が多いとのことで援助の可能性は低く話がなかなか進まない。

詰まるところ、加工（バターと脱粉）に回る原乳を減らすことに目を向けることになる。

まず、飲用向けは「酵乳向け」

価及び一月分生産者支払乳価について

(三) 総務委員会・建設委員会報告について

### 協議事項

- (一) 十二月度及び四月～十二月度事業実績について
- (二) 資金貸付について

(三) 平成十六年度配合飼料・混合飼料及び粗飼料供給量別利用奨励金措置の実施について

(四) 那須高原CS・支所建設に伴う汚水処理業者及び事業費について

(五) 専門委員会開催について

生クリーム向けなどのいわゆる牛乳商品の消費拡大だが、昨年のように冷夏や悪天候などの自然現象に左右されることがあれば、いくらPR活動を行っても効果が表われないこともあり、ほとんどん宣伝費をかけることも躊躇させられる。

とは言え安全・安心・おいしい牛乳は消費者から強い支持を受けており、品質の良いものが良く売れる傾向にはなってきたので、生産段階でも販売を担当する側においても、地道な努力がますます必要になってくると思われる。

もう一つの考え方は、計画生産での生産調整を実施することにより、生乳生産の絶対量を減少し加工率を低くすることである。

このことは、加工乳を多く生産する地域と関東のように大部分が飲用乳として消費される地域とではその性格が異なり、同一の考え方は不適當である。関東は生産

者も飼養頭数も生乳生産量も年々減少しており、生産意欲を損なう生産調整は実施できる状況ではない、と言うのが関東の生産者代表の一致した考え方である。

脱粉の問題は解決してゆかねばならないが、生産調整の実施方法については今後十分に検討されねばならない。関東地域の考え方としては、減産は行わず中酪の計画をオーバーして枠の確保が生じた場合全体で負担する、また目標値や目標年を掲げ、仮に五年間は減産を行わないなどを検討している。

いずれにしても、売れる牛乳を生産することを旨とし「需要期増産・不需要期生産抑制」の奨励制度を充分検討したいとしている。

十六年度の方針が決定次第お知らせいたしますが、組合員の皆様のご理解ご協力お願いいたします。

(W)

## パソコン一年生

### インターネットの回線

昨年を振り返ると、ADSLを中心にブロードバンド大躍進の年でした。主な回線種を示しますと、左記の様なものがあります。

○ダイヤルアップ(56kbps)

○ISDN(64kbps)

○ADSL(1.5Mbps～45Mbps)

○FTTH(100Mbps)

1Mbpsは1,000kbpsです。速度

は表示されている数値がそのまま出るとは限りませんが、ISDNとADSLには大きな速度差があります。

また、例えばADSL(8Mbps)とISDNの速度差は理論値で百二十五

倍程ですが、速度が百二十五倍になつたからと言って、料金も百二十

五倍というわけではありません。むしろ安くなることもあります。

欠点としては、ノイズに弱い、距離などで減衰等があります。そこで

FTTH(光ファイバー)ですが、これはノイズに関係なく、速度も更に高速です。コスト、対応地域の問

題はありますが、現在NTTの方で対応地域の拡大を行っているよう

です。昨年はADSLが大きく普及したように、今年もFTTHが普及す

るかもしれません。

